

下田市地域おこし協力隊 スポーツ振興部門 5~8月 活動経過

下田市地域おこし協力隊 スポーツ振興部門

須藤 航太

下田市地域おこし協力隊 スポーツ振興部門 / SS伊豆広報

須藤 航太



- 178cm、O型、26歳
- 三島市出身
- 全国高校サッカー選手権出場経験あり
- 人生「地域貢献」

サッカー歴 18年

- FC時之栖
- ジュビロ沼津(アスルクラロ沼津U15)
- 山梨学院高校サッカーチーム
- 岳南Fモスペリオ
- J.FC MIYAZAKI(ヴェロスクロノス都農)
- 岳南Fモスペリオ

2022年6月、現役引退

選手成績

- adidas CUP 2012 第27回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 全国ベスト8
- 第95回 全国高校サッカー選手権大会 全国ベスト16
- 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2018 決勝ラウンド進出 第4位

サッカークラブでの仕事歴

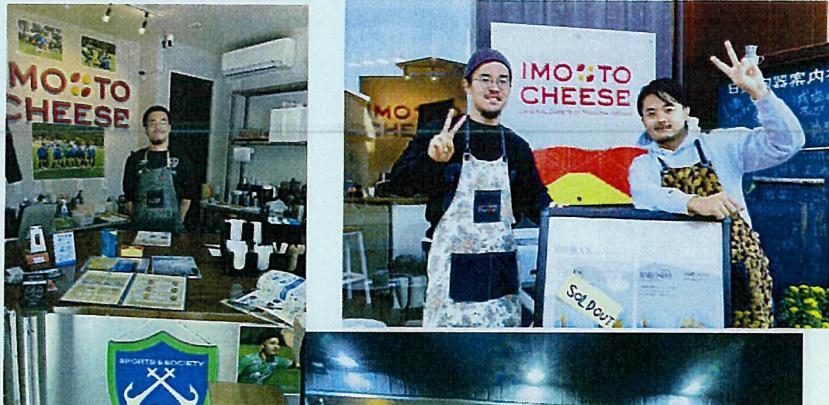
- 岳南Fモスペリオ 選手兼広報、SNS担当
- SS伊豆 広報/デザイナー/地域コミュニティ担当

主な資格

- ACCA公認スポーツ栄養スペシャリスト
- アスリートフードマイスター3級
- 食品衛生責任者

過去の仕事

- ・スーパーの惣菜部門
- ・病院の看護助手
- ・老人ホームの介護助手
- ・警備会社の事務、イベント設営業務
- ・テントサウナ、バンサウナ運営



現在の活動

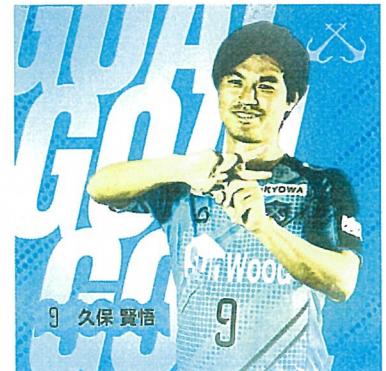
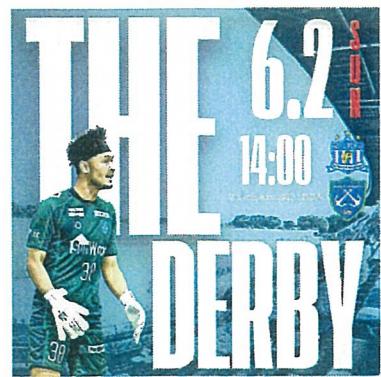
- ・下田市地域おこし協力隊 スポーツ振興部門
- ・SS伊豆 広報 / 地域コミュニティ担当
- ・SDIzu~SEE DEEP IZU~ 運営
(SS伊豆スポンサー、地域紹介メディア)
- ・IMO TO CHESSE デザイナー / スタッフ
(三崎大社参道すぐのカフェ)
- ・フリーランスデザイナー



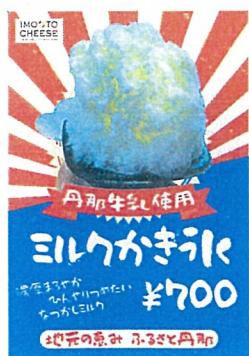
チラシ、ポスターデザイン



SNS用画像



チラシ、ポスターデザイン



10月に行われるSea&Rainbow用チラシデザインも担当、作成中

ここまで活動

下田中学校サッカー部とのかかわり(下田のサッカー)



5,6月は部活動に参加



一緒にプレーする中で
気づいた点や課題などを
アドバイスするスタイル



自分の得意分野→指導することではない



6月は下中の部活に
SS伊豆監督の伊藤が参加

日々メインで指導している人たちを連れてくるスタイルに転換
・SS伊豆監督・コーチ・現役選手
・これまでのサッカー人生で出会った上質で超優秀な指導者

8/22には下中・下高合同のSS伊豆サッカー教室を初開催
講師はSS伊豆代表の片岡

月1,2回ペースを予定に、継続開催予定



目指すのは、下田スタイルの構築

SS伊豆のスローガンにも「伊豆半島から世界へ」というものがあります
まずはスタンダードを変える

東部、県、全国で戦える選手を育成する
原石を磨き上げる

いざれは世界で活躍する下田産、伊豆産、伊豆半島産の選手、アスリートたちを育成する

海や山、川、勾配のある道など特色のある地域の環境を活かし
田舎ならではの抜群の身体能力を誇るアスリートを育成する

しっかりと頭を使うトレーニングも行い、インテリジェンスも鍛える
戦術理解の高い選手に

ジュニア年代～ユース年代でいかに競技の原理原則を落とし込むか
各競技でベースモデルに下田らしさ、下田スタイルを組み込む

指導者の育成・招聘、プレー環境づくり

やっぱり、芝のグラウンドがほしい。

スポーツで活性化するにも、合宿誘致、拠点誘致、大会誘致、遠征誘致をするのにも

この下田で、下田スタイルを構築するのにも

地域熱を高めるのにも

絶対、確実に、必要なのは、「環境」です

これだけは、間違いない

遠方から、伊豆半島の最南端まで、長時間かけて訪れてくれる人たちに

何を一番提供しなければいけないか

競技をする上での良い「環境」

下田市は自然環境、景観、文化的にもとても魅力があります

現状、誘致の面で劣っている環境はすぐには変えられない

なので現状の策は

「競技をするだけでなく、チームビルディングの場」として

使ってもらうこと

海水浴場の安全監視業務に参加(ドローンパトロール)



8/27現在、6日間参加(最終日31日も参加予定)



おわり

ありがとうございました！